

鯖街道

## 熊川宿

若狭熊川宿まちづくり特別委員会

福井県遠敷郡上中町熊川

TEL/FAX (0770)62-0330



下ノ町の町並み

熊川の宿場町は、約一、一キロの長さがあります。京都側より上ノ町、中ノ町、下ノ町と呼ばれていて、それぞれ特徴があります。

上ノ町は、長さ四百五十メートルで左右に緩やかに蛇行し、その坂道は峠を予感させるものです。中ノ町は、長さ三百五十メートルあり、道幅が最も広く、問屋など間口の広い建物が並びます。下ノ町は、長さ三百メートルの直線的な町並みです。妻入りの民家が多いことから、密度の濃い家並みが展開し、お祭りの提灯の光が、最も美しい所かも知れません。

いずれも、家並み、前川、そして借景となった山並みの美しい調和があります。

昨年、中ノ町の電線の地中化、地道風舗装、前川の法面整備などの景観整備が完了しました。今後、上ノ町、下ノ町も同様な整備が、住民は元より、全国の熊川ファンより待望されています。それにはまず、下ノ町の整備が優先されなければならぬように思われます。

熊川宿

寄稿・作文

熊川いつぶく時代村

感想文・活動報告

熊川の行事

1

2・3

4・5

6・7

8

## 町の人に会いにくる町にすること

P 田桂二

熊川宿が、住民の皆さんと行政の努力で、日々美しくなってきたことを、自分のことのようにうれしく思っています。

まだ上ノ町も、下ノ町も、中ノ町同様になるとか、保存改修する家も数多くありますが、すでに観光客の数がふえつつあります。そこで重要なことは、お金さえ置いてくればよい、という類の、品位に欠けた観光地にならないということだと思います。



訪れた人達にもそのことは分かりません。訪れた人達も人の和に取り込んでしまうのです。

お店をひらく人は、来た人に店の

主人が語りかけること、使用人まかせにしないということでもありません。落とすことなく、お金は少なくても、毎年きてくれる、いつ来てもあの人に会えるのがうれしい町にしましょう。

容れ物はいいが、中身がどうもでは困る、今はそれを考える時期だと思っております。

す。町並み保存で町づくりを意図した先進地は、軒並みにつまらない観光地になってしまっていると思います。

要点は、和をもって人に接するということにつきると思います。熊川宿に住む人達の誰もがそうであってほしいのです。人の悪口を言わない、かげ口も言わない、けんかもしない、なごやかな人間関係が町にあれば、

◇ 田桂二氏プロフィール  
建築家 工学博士  
元東京芸術大学客員教授  
昭和五年 岐阜県生まれ

昭和六〇年の日本ナショナルトラストの熊川宿の調査顧問  
平成三年 吉田五十八賞特別賞受賞  
平成四年 日本建築学会賞受賞  
平成七〇九年「旧逸見勲兵衛家」の設計監理  
平成一〇〇一年「四季彩館」の設計監理  
平成七年より上中町伝統的建造物群保存地区保存審議会委員・全国町並み保存連盟顧問

熊川宿場町も昨秋の道路の整備以後、日増しに宿場に足を運ぶ人がふえて来ております。

去る9月24日 は観光バス、マイクバスあわせて六台の客がやって来て、その対応に嬉しい悲鳴をあげました。

それらの方に熊川宿場のよさを話し出来たらと、いや上中町全体の案内もしてあげた

らと。上中語り部の会が発足して漸く二年目に入り、会員数も十数名になり、ポツポツこの会も一人歩きが出来るようになりました。

本年は、この会の先達である亀井清、逸見監治の両氏を失い失望の極みです。

熊川宿場四〇〇年の営みを限られた時間に、不特定多数の方に案内することは至難ですが、できるだけわかりやすくお話し、何かひとつでも熊川宿のよさを味わっていただけたらと願っております。

\* \* \*

過日みえた旅行作家の西本椰子さんは「宿場町の景観もさること

ながら、それ以上に店先や野良で働いておられる土地のおじさん、おばさん達と話してみると、ちょっと京都なまりのしかもどこかしら暖かみのある土地のことばにたまらない好さと親しみを感した」と話されました。

又、作家の長野修平さんは、

若狭路の旅のよさは、

一、美しい水の色（海、川、湖）

二、のどかな野山の光景

三、人情味あふれる若狭ことばをあげておられました。

私達はつたない語り部ですが、熊川路を訪ねて下さる皆さん方と一緒に勉強させていただきたいと念じております。

\* \* \*

熊川宿の屋号の中に、桶屋、いかけ屋、かじ屋、ローソク屋など家の職業が屋号になったものもあるし、丹後屋、丹後さん、広島屋、倉見屋、美濃屋、高島屋などが目につく。

熊川以外の他地域の地名や国名が屋号になっているのは、それらの土地から移住してこられたものか、それらの土地の人を得意先としたものかさだかでないが、若狭の国だけではない広い地域の人達との交流の跡を偲ぶことができる。

明治初年頃の御用日記（宿場の公用文書）を見ると、職業の項に飛脚

## 熊川に来て思うこと

熊川小学校

六年 谷地田悠美

熊川には、古い建物がたくさんあります。

私は、五年生のときに熊川に引越して来ました。はじめて熊川を見たとき、「とてもきれいなところだなあ。」と、思

いました。特に、

前川は、水がと

てもきれいで、

すこいなあと思

いました。お店

でお菓子を買っ

て、それを食べ

ながら前川に足

をつけて遊ぶ

と、すごく楽しいです。前川にはメ

ダカもいて、それをつかまえる遊び

をしたりもします。

一学期に、熊川の義民・松木庄左

衛門という人を調べました。庄左衛

門は、「年貢を減らしてください。」

と、お願いしたのに、お上にそむい

たばつとして、殺されてしまいました

た。年貢のために、みんなのぎせい

になってしまうなんて、とてもかわ

いそうだと思います。

こんな熊川に、たくさんの方が来

てくれたらなあ、と思います。

すきです！  
熊川

## 自然がいっぱい熊川

熊川小学校

六年 岩本のぞみ

熊川には、自然がたくさんあります。家の前には、川も流れています。

私たちは学校で熊川の川を調べた

ことがあります。熊川の人たちは、

この川で洗たくをしたり、いもを洗

ったりします。ある家では、昔お酒

を作っていた所もあるそうです。今

では、つぼを洗ったりしているそう

です。そんなきれいな川です。熊川

の川はいろいろな人に使われていて

とても便利です。夏には、足をつけ

てアイスクリームを食べるときもあ

ります。冷たくとてもきれいな川

です。

休みの日には、観光客が来ます。

いろいろなめずらしそうに見えます。

お店では、熊川名物を買っていきま

す。川に手をつけて「気持ちいい。」



ふるさとの川

熊川小学校 五年 小林美佐記

(ひきやく)業、行商、旅人宿、仏壇屋、古物商など多岐にわたって

浅野長政の諸役免除の政策以後数百年にわたって交通の要路として活

\* \* \*

私達会員は微力ですが、この土地

を訪れる方々にこの宿場町のよさを

お話しすることが、私達のふるさと

熊川を、いや上中町の情報発信の場

として、町おこし村おこしの原動力

にでもなればとの大きな期待と夢を

もって取り組んでおります。

皆様方のご支援、ご理解をお願い

します。



語り部による町並み案内

という人もいます。写真を撮っている人もいます。そんなとき、「熊川

宿も有名になったんだなあ。」と、

思います。これからも、熊川は自然

がたくさんある町にしたいです。

熊川の好きなところ

熊川小学校

六年 岡本和也

熊川は、緑がいっぱいで川もきれ

いです。夏になると川で遊べるし、

川には魚がたくさんいるし、そこで

よく魚を釣っている人を見かけま

す。でも、道路に車がよく通るので、

危険なときもあります。

時々、熊川が都会だったらいいな

と、思っています。

ぼくは、総合学習という勉強で熊

川城を調べました。近所のおじいさ

んに熊川城のことを話してもらった

り、いろいろなことを教えてもらっ

たりして、とてもうれしかったです。

熊川は、静かで落ち着きます。ぼく

は、とても熊川が好きです。

もっとすこいことがあります。そ

れは、熊川にはサルが出たり、イノ

シシが出たりするのです。よく家の

屋根に座って、なにかを食べていま

す。すこいかわいいです。熊川はと

てもおもしろい所です。

## 建て直して思うこと

藤井 美栄子

建てかえて早二年になります。以前の家は、どの部屋も何ヶ所か床がぬけてフカフカしており、直さないといけない状態で、そこを避けては生活しておりました。

そこへ屋根まで漏りだして、どないかしなければならなくなり、重伝建に沿うような設計が出来上がりましたが別に内と外の違和感もなく、それで進められました。

でも出来上がった時「昔の家や」の子供の一言！ たしかに私も昔の家やな—と思いました。

ところが、直したお宅が増えるにつれ、統一感が出て、昔の家—の思いが今は薄らいでいます。

この前、近江商人の町並みを見学させて頂き、見学に来られる方の気持ちにふれた様な気がします。

歩いているとどうしても、昔からの物に目がいき、今にない、ものよさが伝わってきます。

ここ（熊川の）どこの、いいのかなあ—と想っていた私は、外から見て初めてよさがわかる気がしました。

これから痛んでいるお宅が、つきつきに直していかれ、一つの宿場町になった時、重みのある、静かな、

落ちついた町並み。歩けば何百年前の建物など今も、ずーと生きている…。その時がとても楽しみです。そう思うと、町並みに沿うような修業に建てかえられて、よかったです—と感じています。

### NHKお国ことば名人

#### 「上中町紀行」に出してもうて

うちの家は、昔は崎屋勘左エ門とゆうて間屋をしとったそうや。

去年やったんやけん、NHK福井放送局より上中町関の永江秀雄先生へ若狭の方から「お国ことば名人」を一名出してほしいとの要望があつて、あつちこつちと捜されたんやけん、その土地で生まれて「どっこもよそ」（何処へも他所）へ出ていない人ということで、結局もう崎屋の

尚ちゃんしかないので是非出ておくれと言われ、再三お断りしたんやけん、ほんまにうちの様な井戸の中の蛙で良かったらということでお受けしましたんや。

そこで当地上中町は、若狭地方の



修葺された藤井さん宅

中村 尚子

中程にある人口八千人余りの農業の町ですんや。かつて町には若狭と京都を結ぶ重要な街道



(左から吉田アナ、中村アナ、私、大木アナ、堀江アナ)

が通っていて、特に熊川は京都へ行つたり来たりする人が仰山いたんでたいへん賑わっていたそうです。それで今でもうちの喋り方は京都に似ていますんや。又言葉だけではなく、文化も京都の影響を受けています。

又、NHK名古屋放送局の「ゆうがたチャンス」には、東海・北陸からの方言名人として、福井県を代表

して「ほんま」（本当）は恥ずかしい思いがしたんですけど出ましたんや。これは「ほんま」の生放送でリハーサルなしで、スタジオに入り、もう一分前と言われた時は胸がドキドキ震えましたんやけん、でも今から思えば二度とないチャンスやつたなあ—と、今更ながら出してもろた事を喜んでおります。

方言の一例で同じ福井県でありながら「おぞい」とゆう言葉は、嶺北では、あの学校は「おぞい」（古い）学校やの—と云うように使い、嶺南では、この頃「ようれ」（沢山）鴉が出てきて家の中まで入りみかんを食べとるんや。ほんまに「おぞい」（悪い）「こつちゃ」（事や）と、同じ言葉でも全然意味が違うんです。又こつちでは「しいからへん」（できる）とか「こうれん」（来ない）といった独特の方言も使います。

町並みを視察に来られる人達は、この辺の方の言葉は本当に優しくて又、親切に何でも教えて下さると喜んでおくれる時は、ああ—良かったなあと思えます。

熊川は昔から商売の町ですから、私の大好きな言葉「おいでやす」の言葉で人生を楽しく過ごしたいと思っています。



大勢の人が来てくれるかな？



オープニング直前の最終チェック



なかなかいい感じになってきたぞ！



よく揃ってきました！

## 熊川いっぶく時代村 準備風景あれこれ

初めて提灯を  
吊してみる。  
大きくて  
大迫力！

試にかついでみる。うっ、重い！



中が見えるようにひと工夫…



繰り返し開かれた企画検討会



10.13

### 一乗寺一行が来訪

京都一乗寺「てっせん踊り」のメンバー三十名が、イベントに合わせて来訪され、地元熊川宿の踊り手と一緒に、「てっせん踊り」を披露して下さいました。

三重県関町の旧東海道関宿を案内する「関宿ボランティアの会」一行が、熊川宿へ来られました。  
関宿は熊川宿と同様、重伝建の選定を受けています。  
語り部の案内で町並みを見学した後、まちづくりについて交流が行われました。



8.31

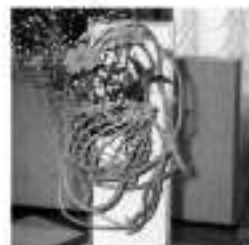
### 近江八幡を 見学



9.3

### 関宿案内ボランティアが来訪

当地では自分の作品が商品化されることで、益々楽しみや、やりがいが出てきたようです。  
また最近では、オブジェ風の大きな作品が人気で、太いつるを取ってきて添えることにより、雰囲気を変えたりアイデアを出して楽しんでるようでした。



6.22

### 兵庫県山南町へ 蔓細工の研修



8.13

## 第六回まちづくりフォーラム

今年のテーマは「熊川からの発信を考へる」  
パネルディスカッションでは、これからの熊川について熱心な意見交換がされました。



左から司会の吉田桂二さん、パネラーの辻保宏さん、高家昌昭さん、矢野博之輔さん、松宮敬彦さん。



京都場芳軒 高家さん

10.16

まつのき  
松木神社例祭

今年も恒例の松木長操先生の遺徳を偲んで、秋の例祭が行われました。



8.15

## 納涼盆踊り

流行踊りでは若いも若きも総踊りで大きな輪ができました。



宮下さんの昔踊りに場内は大爆笑!



## ちよつとお知らせ

平成十二年度

「手づくり郷土賞」を受賞

建設省が認定する「手づくり郷土賞」に今年度熊川宿が選ばれました。

地域固有の歴史や文化を十分に生かした町並み整備に加え、「曇細工教室」や「語り部講座」、「まちづくりフォーラム」を開くなど、地元住民の積極的な活動が評価されました。

十月十三日には、宿場館前にて受賞記念碑の除幕式が行われました。



てっせん踊りと熊川音頭で最高潮に!



## 作品集

作文/感想文/随筆  
絵画/水彩画/墨絵  
写真/俳句/川柳 など

お問合せ・ご応募は  
若狭熊川宿まちづくり特別委員会

## あとがき

朝夕の冷え込みに秋の深まりを感じ、紅葉を迎える頃となりました。

「熊川いっぶく時代村」は、天候にも恵まれ、大変沢山のお客さんに来ていただき、大盛況のうちに終わることができて、ほっとしています。

町並み通信「鯖街道熊川宿」は第二号の今回、「熊川いっぶく時代村」を写真特集として組み、増ページ版の発行となりました。

写真撮影や編集作業、人々とのふれあいを通して、改めて熊川の歴史や文化を知ることができました。

当委員会では、熊川宿や当広報誌に対するご意見や感想を募集しております。また熊川宿に関する懐かしい写真や珍しい写真、話題や川柳など広く募集しておりますのでお気軽にご連絡下さい。

次号第三号発行は、来年三月上旬を予定しています。

編集委員



熊川いっぶくイベントステージ

若狭鯖街道の観光物産広場



まちかどの芸能



ちょうちん御輿練り歩き



お宝ちゃんまげ見てちゃんまげ



熊川宿川柳



籠屋でござる in 熊川宿



着物でいっぶく時代村

語り部ツアー



まちなみライトアップ



てっせん踊り・熊川音頭



てっせん踊り・熊川音頭



てっせん踊り・熊川音頭

とき 平成12年10月13日 ~15日  
(17:30~)  
ところ 鯖街道熊川宿・道の駅「若狭熊川宿」  
イベント委員会: 曾我通家 福輔

鯖街道熊川宿で三日間のタイムスリップ  
熊川いっぶく時代村



恩地美佳 民謡ライブ